

## 【緑で結ぶ心の輪】



Vol.60 (平成25年12月)

埼玉グリーンアドバイザーの会 広報委員会

〒336-0035 さいたま市南区松本 2-1-13 柴田園芸刃物(株)内 事務局

TEL: 048-864-2311/FAX:048-864-2355

事務局メールアドレス s-ga0329@s-greenadviser.org

埼玉GAの会ホームページ s-greenadviser.org

## 【平成26年度総会のお知らせ】

平成26年度の通常総会の日程が決まりました。

ご予約をいただき一人でも多くの会員皆様のご出席をお待ちしています。

●日時 : 平成26年2月8日(土) 午後2時～

●会場 : さいたま市産業文化センター 3階(301～302号)会議室

交通 JR与野本町駅東口徒歩6分

住所 さいたま市中央区下落合5-4-3

電話 048-854-0486

### ●行事予定

受付開始 : 午後1時30分

総会開始 : 午後2時

記念講演 : 午後3時～4時30分

懇親会 : 午後5時～6時30分

\*総会の詳細は、別紙の総会案内でご確認ください。

## 【記念講演のお知らせ！】



講師：園芸文化協会 小笠原左衛門尉亮軒 氏

### 『江戸庶民の園芸事情』

もともと園芸文化が盛んだった江戸時代 そんなときに庶民が園芸をどのように楽しんでいたかをお話いただきます。

参加費 埼玉GAの会会員： 無料 一般参加者：¥1,000

定員 70名(定員になり次第締切させていただきます)

### 講師プロフィール

名古屋園芸(株)取締役隠居 社団法人園芸文化協会副会長

NHK「趣味の園芸」講師 NHK「ブラタモリ」案内人

19??年名古屋市生まれ。園芸研究家。京都大学農学部研究生を経て、

1957年名古屋園芸(株)を創業。

江戸時代の園芸資料蒐集と研究に従事。実務と同時に講演、執筆活動も幅広く行い、

園芸普及に尽力。園芸界随一の博学者「頼りになるご隠居」

著書に『江戸の花競べー園芸文化の到来』(青幻舎)、『江戸の園芸・平成のガーデニング

プロが教える園芸秘伝』(小学館)『NHK 趣味の園芸』(日本放送出版協会)など多数。

自宅の「雑花園文庫」と名づけられた書庫に江戸時代の園芸書・図録・浮世絵等数多くの蔵書を所蔵。

## 【研修報告】「誰も話さないここだけの話 II」 講師 望田明利氏

平成25年11月12日（火）18:30～浦和コミュニティセンター 参加者 22名

最初は、ミツバチの話でヨーロッパ（EU）において蜂群崩壊が発生したそうです。蜂群崩壊というのは働きバチが消えてしまう現象らしく、女王蜂が子供を産んでも蜂の子は育たず、巣そのものが崩壊する現象だそうです。EUでは農薬の「ネオニコチノイド系薬剤」がその一因ではないかとの考えの中で、その成分を含む3種類（イミダクロプリド、チアメトキサム、クロチアニジン）を予防処置として12月より2年間使用制限するようです。



我が国でも、その話を受け農薬の影響だとする論文が発表され、その論文の残留農薬の量の取り扱い方が問題で物議を醸しだしたそうです。

次に、日本ミツバチと西洋ミツバチの違いについての話があり、飼育するには市に届けをすれば簡単にできるらしいです。日本ミツバチの方が育てやすいそうですが蜜の量は少ないそうです。また蜜の生産量は中国が世界一だそうです。

残留農薬の濃度の話では、一般家庭園芸で収穫した野菜等は自家消費が原則ですが、農薬の知識もなく使用し育てた野菜等を販売する個人がいるとの事で問題が発生するのではなかと心配をしていました。これからは残留農薬の検査体制、知識の差が問題視されそうです。

特定農薬の話では、特定農薬に次亜塩素酸電解水、焼酎、エチレンが近々追加される予定との事でした。木酢液は、癌の発生物質が含まれているのではないかとされているために、農薬には認定される予定はないとの事でした。

また、残留農薬の基準が外国とは異なる場合があり、農作物の輸入が出来ない。例えばレタスの基準はアメリカでは10ppmで日本では2ppmであることなど、このような残留農薬の基準も統一する方向に向かうとよいのですが？

そして大豆、トウモロコシ、綿等の植物の遺伝子組み換えの話で、例えばラウンドアップの成分でアミノ酸系除草剤の抵抗物質を遺伝子に組み入れカメムシの被害を防ぐこと等解り易く説明をしていただきました。

ラベル表示の件、農林水産省にラベルデザイン面には野菜用と記載していながら使える野菜が限られている製品が目立つとクレームがあり、改善方法を検討しているとの事。また登録のない除草剤が農薬コーナーと一緒に並べている店があり、登録のない除草剤は農薬ではない為安価に販売されている。購入者は農薬と誤認し使用する場合もあるのでは？その為何らかの指導がある可能性があるとの話でした。

近年、青梅で発生した、梅のウメ輪紋病（プラムポックスウイルス）が和歌山県でも確認されたとの事、アブラムシが病原ウイルスを媒介するので広がりをお心配していました。

マシン油、石灰硫黄合剤の効果の違いなどを話して頂き、多くの知識の引き出しを持っている先生には感服し楽しい一時を過ごしました。又、「ここだけの話」の続編を聞く会を設けて欲しいです。

（記事：石原保義）

## 【当会の動き】

- 11月12日：研修会 『誰も話さないここだけの話』
- 11月16日：理事会 下期活動
- 12月16日：GA埼玉56号発行
- 12月21日：理事会 総会準備

## 【イベント情報】

### ●第24回 日本フラワー&ガーデンショウ 開催概要決定！

3月21日（金）～23日（日）千葉・幕張メッセ

2014年 日本フラワー&ガーデンショウは新たな1歩を踏み出します！新たに「セントラルパーク」を会場中央にレイアウト！ひと時を憩い、集える空間としての「セントラルパーク」が会場中央に出現。セントラルパークの外周には、様々なイベントや園芸相談などの楽しくためになるブースが並び、各社自慢の一押し商品やこの春の最新情報が展示された会場全体を見渡すことができます。

すべてのお客さまに「2014年」を持って帰っていただきます！



2014年の最新の花、最先端の資材、最旬の情報、アイデアが勢ぞろい！春一番のこのショウを見ずにはガーデニングの計画はたてられません！

セントラルパークを中心とした会場イメージ

園芸セミナーや園芸体験ツアー、新品種の展示&人気コンテストなど、ご家族全員で参加して楽しめるイベントを数多く企画しておりますので、是非お誘い合わせの上ご来場ください。

### ●世界らん展 日本大賞2014

2月15日～2月23日 東京ドーム



### ●第12回クリスマスローズの世界展

2月21日～23日 東京・池袋サンシャインシティ  
ワールドインポートマートビル4階 展示ホールA)

## 【柳下 和之氏（園芸研究家）のコラム 第16回目】

### “カニクサ”



日本に自生するシダ植物で唯一のツル性植物がこの「カニクサ」です。

なぜこの名前が付いたかと言えば、ツルが細いのに強靱で容易に引き千切れない事から、子供が蟹を釣るのに利用したと言われていました。

シダ植物なのにツル性なのも特殊ですが、驚く事に伸びたツルは一枚の葉から成り立っているという事です。

ツルは長い物で2~4mぐらいに伸びるので、日本最大（最長？）の葉を持つシダ植物と言う一面があるのはあまり知られていないかもしれません。

茎のように見えるのは葉の主脈（葉の中心を流れる部分）が変化した物、葉のように見えるのは「羽片（うへん）」と呼ばれる小葉（しょうよう）の部分が変化した物で、進化と言うのは人間の想像を超えるなど感心します。

カニクサは、シダ植物ですから華やかな花が咲くわけではないですが、葉は涼しげなので観賞用に行燈仕立てにして育てるのもよし、最近流行りの緑のカーテンに利用して見ても良いかもしれません。

宿根草ですから、一度植えれば毎年伸びてくれるメンテフリーな緑のカーテンになりそうですが、あまり試した話を聞きません。

涼しげな葉が見た目にも美しいと思うのですが、やっぱり地味ですかね・・・。

### 【編集後記】

カレンダーも最後の1枚となり、今年も余すところ僅かな日となり、年末恒例の流行語大賞や一文字漢字『輪』が決まりました。夏の猛暑から秋が殆どなく、アツという間に冬に突入です。会員の皆様には、年末のかき入れ時で忙しい日々を送られていると思います。

寒さが厳しくなってきましたのでご自愛下さい。

来年は、アベノミックスで良い年になることを祈念しつつ本年最後の広報誌となりました。

\*会員の皆様には、どうぞ良いお年をお迎えください！

